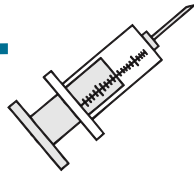




## ツベルクリン反応・BCG接種が 変わります



**結核は、依然我が国最大の感染症です**

乳幼児結核の多くは、BCG未接種者に発生しています。結核感染前の生後早期に予防接種を行うことにより、特に乳幼児の重症結核については、高い予防効果が期待できます。

結核予防法の一部改正は、BCG直接接種の科学的安全性についての知見が得られたため、また、ツベルクリン反応検査偽陽性者のBCG接種機会の喪失を防ぐために、今行われたものです。

### 現行

- ・対象：4歳未満児
- ・ツベルクリン反応検査で9ミリ以下のかたにBCG接種を行う

### 改正後

- ・対象：6か月未満児
- ・ツベルクリン反応検査を廃止し、直接BCG接種を行う
- 4月より偶数月の第1火曜日にBCG接種を行います。
- 今回の一部改正（平成16年10月）で4月に対象外になつてしまつたかたに対し、2月・3月に接種を行います。該当のかた（表1参照）は、ぜひ接種を受けてください。

なお、16年10月7日～12月9日生まれのかたは、4月5

日（火）の新年度の接種日でも受けられますが（その場合ツベルクリン反応検査はせず直接BCGのみ）、予備日はありませんのでご了承ください。体調等を考慮のうえ接種日を決めてください。

（表1）ツベルクリン反応検査・BCG接種追加実施予定

ツベルクリン反応検査	BCG	対象者（未済者のみ）
2/23(水)	2/25(金)	13年2月27日 ～16年11月23日生
3/9(水)	3/11(金)	13年3月13日 ～16年12月9日生

該当するかたは、この機会に接種を受けましょう！

### 予防接種を受けましょう！

お母さんが赤ちゃんにプレゼントした病気に対する抵抗力は、百日咳や水痘（みずぼうそう）は、生後3か月までに、麻疹（はしか）やおたふくかぜは、生後12か月にはほとんどが自然に失われていて病気を予防する必要があります。これに役立つのが予防接種です。

子どもは発育とともに外出の機会が多くなります。保育

園や幼稚園に入るまでには、できるものには予防接種で免疫をつけ、感染症にかからないように、また、他の人につさないために予防しましょう。

最近「病気がはやってないの、予防接種はもう必要でないのではないか」という声を耳にします。この考えはまだ早計です。予防接種で国民が抵抗力をつけているから、病気の流行がおさえられている。

るのを忘れないでください。

「感染症」とは  
ウイルスや細菌などの微生物が体内に入り、体内で増加することにより発症する病気です。微生物の種類によって、発熱やせき、頭痛をはじめとするさまざまな症状が出現します。

### 町で行っている予防接種（17年1月現在）

	対象年齢	標準的接種年齢	回数	
ポリオ	3～90か月未満	3～18か月	2回	
ツ反・BCG	4歳未満	3か月～1歳まで	1回	
三種混合	1期初回	3～90か月未満	3回	
	1期追加	3～90か月未満	1期初回終了後12～18か月	1回
	2期	11～12歳	小学校6年	1回
麻疹（はしか）	12～90か月未満	12～15か月	1回	
風しん	12～90か月未満	麻疹接種後すみやかに	1回	
日本脳炎	1期初回	6～90か月未満	3歳	2回
	1期追加	6～90か月未満	4歳	1回
	2期	9～13歳未満	小学校4年	1回
	3期	14～15歳	中学校3年	1回
インフルエンザ	65歳以上		毎年1回	

4月よりツベルクリン反応検査を廃止して、直接BCG接種（生後6か月以内）